



キッズだより



令和8年1月 第46号
たかとりいちごんキッズ

あけまして おめでとうございます

みなさまにとって笑顔で楽しい一年になりますよう祈念いたします。

2026年もどうぞ よろしく お願ひいたします。

お正月休みは、どう過ごされたのでしょうか。保育園にきたサンタさんからもらったプレゼントで遊んだり、おじいちゃんおばあちゃんに会ったりして楽しい時間を過ごされたのではないですか。

昨年12月から、登園降園アプリ『うえふさくら』の導入にあたり、連絡帳もネット上のやりとりになりました。新しいことを始めるには、なかなか勇気がいるもので、久しぶりの新しいことにドキドキしながら挑戦しています。慣れるまで時間がかかるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

にじ組は、キッズで過ごす日も後3か月です。子どもたちは一つ大きくなること、保育園に行くことを、楽しみにワクワクしています。大人たちは、「大丈夫かな?」「うまく慣れるかな?」「泣かないかな?」など色々と心配してしまいかがちです。大人が不安に思うと、子どもにも伝わります。入園面接でも話しましたが、子どもは大人が思っているより柔軟性があります。すぐに慣れると思いますが、「保育園楽しかったね」「いっぱい遊んだの?」と話をたくさん聞いてあげてください。

ひかり組・あさひ組の子どもも一つ大きくなります。また少し環境が変わる中で、不安になる子どももいると思います。大人がドンと構えて、お迎えに来た時に「頑張ったね」と、ハグして気持ちに共感してあげてください。

今のクラスで過ごす時間が、子どもたちにとって楽しい時間になるように、保育士一同力を合わせて保育していきます。

北坂 美知子



1月の予定

誕生会	7日(水)	救急訓練	8日(木)
避難訓練	16日(金)	発育測定	21日(水)
保護者会・講演会	24日(土)		
体育あそび(にじ組)	29日(木)		





入園時は慣れない給食で、少食の子どももいました。キンシップをとりながら少しづつ食べられるように介助したり、手づかみで食べようとしている時は見守ったり、その子に合わせた関わりを大切にしてきました。今では自分でスプーンを持ち、たくさん食べられるようになりました。「おいしいね!」「ぴかぴかになったね!」など共感すると、「おいしー!」と嬉しそうにしています。空っぽの皿を指さして保育士に伝え、満足しています。今後も、子どもたちの様子に合わせて関わり、楽しく食べられるようにしていきます。

友だちの存在に気づき、関わろうとする姿が増えてきました。仲立ちをしながら一緒に遊んだり、楽しさに共感したりすることで、友だちとの関わりを楽しめるようにしていきます。



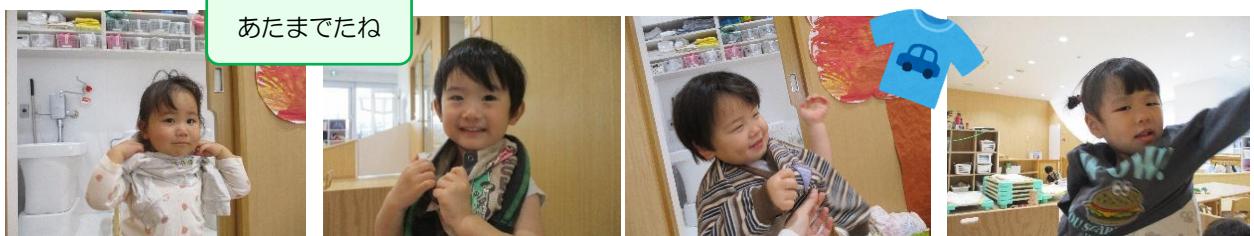
先月は、楽器を使って遊びました。初めてのカスタネットに興味津々の子どもたち。保育士が音を鳴らすと不思議そうにしていました。「いい音がするね」と話しかけると、子どもたちもカスタネットをたたいて音を鳴らしていました。カスタネットや鈴、たいこなど好きな楽器を持って、「おもちゃのチャチャチャ」を歌いながら楽器を鳴らして楽しんでいました。これからも、様々な楽器を使って遊ぶことを楽しめるようにしていきます。

「自分でしたい」という思いが出てきて、靴下を履こうとしたり、上着のボタンを止めようとしたりする姿が見られるようになってきました。今月は、傍で見守りながら、さりげなく援助し、自分で出来た満足感が感じられるようにしていきます。



少しずつ自分で衣服を着脱しようとする姿が見られるようになってきました。繰り返し「袖を引っ張ったら脱げるよ」と伝え援助をすると、進んで脱ごうとしています。着やすいように服やズボンを並べて置き、「頭出るかなー」と声を掛けながら手を添えて一緒にすることで、最後まで自分で着替えようとしています。これからも、自分でしようとする気持ちを認めたり、手を添えて援助したりしていきます。

指先を上手に使って遊ぶことを楽しめるようになってきました。パズルや粘土、洗濯ばさみ、レナモザイクなどを用意し環境を整えることで、指先遊びを十分に楽しめるようにしていきます。



にじぐみ



先月は椅子取りゲームやだるまさんがころんだなどのルールのある遊びを楽しみました。椅子取りゲームでは、音楽が止まると急いで座ったり空いている椅子を一生懸命探ししていました。座れた時は、「やったー」と喜ぶ子どもたち。座れなかった子どもは悔しくて、「すわりたかった」と泣く姿が見られます。子どもたちの様々な感情の芽生えに成長を感じながら気持ちを受け止めています。最初は悔しくて泣いていた子どもも、少しずつ前向きに「つぎはまけないぞ」「またやりたい」と楽しんでいます。一人ひとりの気持ちを大切にして、いろいろなルールのある遊びを楽しめるようにしていきます。

今月からうがいを始めていきます。うがいの大切さを知らせたり一緒にしたりすることで慣れていくようにしていきます。



負けないぞー



《散歩の時間の大切さ》

0歳児クラスでは、3つの視点を大切にし、保育をしています。

今回はこの3つの視点にそって、散歩の様子を見ていきたいと思います。

3
つ
の
視
点

- | |
|------------------|
| ① 健やかにのびのび育つ |
| ② 身近な人と気持ちが通じ合う |
| ③ 身近なものと関わり感性が育つ |



あさひぐみは12月、初めて鷹取駅北公園に行きました。落ち葉や木の実を見つけ嬉しそうに触ったり、保育士に見せたりし喜んでいました。こうした自然に触れる経験は、「なんだろ?」「触ってみたい!」と言う気持ちが育ち、感性や探求心が豊かになります。また、見つけたものを保育士と共有し、「○○あったね!」と一緒に喜ぶことで、身近な人と気持ちが通じ合う嬉しさを感じ、愛情や信頼感の芽生えに繋がります。これは3つの視点の③と②に通じています。

自然以外にも坂道を登ったり降りたりなども楽しんでいました。この高低差のある地面を歩く経験は、傾きに合わせて足の出し方や姿勢を調節するため、足腰の筋力、体幹、バランス感覚が育ちます。これは3つの視点の①に繋がります。

このように、子どもたちにとって散歩の時間は、様々な学びになる大切な時間です。これからも子どもたち一人ひとりの育ちを大切にしながら、散歩を楽しめるようにしていきたいと思います。



苅田 珠輪羅